

平成27年度事業報告書

I 教誨師研修会関係

1 第50回教誨師中央研修会（JKA競輪補助事業）

- (1) 日 時 平成27年9月2日（水）～4日（金）
(2) 場 所 東京都千代田区 法務省地下大会議室
(3) 参加者 教誨師 120名 矯正施設関係者 3名 その他関係者 1名
計 124名

(4) 目 的

教誨師中央研修会が50回の節目を迎えるに当たり、当連盟の進むべき方向性の確認や教誨師としてのあるべき未来像を展望し、組織の発展・充実を図ることとしたい。

(5) 講 演

法務省矯正局長 小川新二氏
「少年矯正の現状」～特に法改正との関係性を踏まえて～
公益財団法人公益法人協会専務理事 鈴木勝治氏
「公益法人とは」－その制度と役員等の役割・責任－
公益財団法人全国教誨師連盟理事長 近藤哲城
「公益財団法人としての全国教誨師連盟の展望」

(6) 協議会 「各都道府県における研修の状況」

総合司会	全国教誨師連盟企画委員	中村昌之
発表者	札幌矯正管区教誨師連盟	松本哲朗
	仙台矯正管区教誨師連盟	島地興霖
	東京矯正管区教誨師連盟	高岡精司
	名古屋矯正管区教誨師連盟	川越恒豊
	大阪矯正管区教誨師連盟	高木歆恒
	広島矯正管区教誨師連盟	吉木祥徳
	高松矯正管区教誨師連盟	長谷川隆嶽
	福岡矯正管区教誨師連盟	後藤法龍

(7) 分科会 「各都道府県における研修の状況をふまえて」

司 会 全国教誨師連盟企画委員 中村昌之

(8) 全体会 班別討議の結果について各班代表者による発表

司 会 全国教誨師連盟副理事長 深山祐

(9) 成 果

今回の研修は、全国教誨師連盟が公益財団法人として公益性をどのように追求していくのか、加えて今後の進むべき方向性を確認するとともに当連盟の更なる組織の発展と充実を図ることを目的として、各都道府県の会長及び副会長等を対象に91名の教誨師が3日間の研修を行った。

基調講演では法務省矯正局長より、矯正施設の現状や改正された少年院法及び少年鑑別所法等について講演をいただいたことは誠に時宜を得たものであり、宗教教誨を通して、矯正施設に収容されている被収容者が自己と向き合い、再犯を犯さない心を育てる一助となればという思いを強くした。

講演においては、講師より公益法人の制度や役員として果たすべき役割や責任等の内容についての講演があり、今後の教誨活動に参考となるものであった。

分科会及び全体会では、各都道府県の教誨師研修活動状況等について討議が行われ、各都道府県の問題点や改善すべき事項等について活発な意見が出されていた。

今後の教誨活動のあり方や方向性等について考えを深めることができた。

2 第51回札幌矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

- (1) 日 時 平成27年6月24日(水)～25日(木)
- (2) 場 所 帯広市 ホテル日航ノースランド帯広
- (3) 参 加 者 教誨師 49名 矯正施設関係者 40名 その他関係者 5名
計 94名
- (4) 目 的
一人ひとりの命の輝きに触れ、広く社会全般に教誨活動の理解を求め
ることをめざし、人と人のつながりや社会と矯正施設との接点を創り出
すようなあり方を探る。
- (5) 主 題 「希望へ！」
副 題 「教誨の原点を見つめる」
- (6) 記念講演
元帯広市議会議長 嶺野 侑 氏

「帯広刑務所と十勝・帯広とのかかわり」

(7) 研究発表

札幌刑務所教誨師会 藤井 照人

「再犯できない人を作ること」

千歳教誨師会 荒澤 道範

「教誨の原点を見つめる」

函館少年刑務所教誨師会 水島 弘司

「私の教誨活動」

(8) 成果

記念講演を通して、北海道開拓史において刑事施設が担った役割を再確認するとともに、その中で教誨師の先人たちの強い使命感と苦勞を学ぶことで、教誨の原点について考える契機となった。

各施設の教誨師が積極的に意見交換を行い、教誨活動の反省点や充実した教誨活動のあり方について、広範にわたる意見を聴取することができた。

研究発表の質疑応答では、宗派の枠を超えた意見の交流が行われ、教誨活動の充実に資する討議が行われた。

本研修大会を通して、宗教教誨が矯正施設における指導において担う役割を改めて考える機会となり、個々の教誨師が自己の担当する教誨のあり方を見つめ直し、教誨活動の発展に対する責任を再確認した。

3 第57回仙台矯正管区教誨師研修岩手大会（JKA補助事業）

(1) 日時 平成27年10月15日(木)～16日(金)

(2) 場所 盛岡市 メトロポリタン盛岡ニューウイング

(3) 参加者 教誨師92名 矯正施設関係者32名 その他関係者18名
計142名

(4) 目的

仙台矯正管区教誨師連盟所属の教誨師が一堂に会し、矯正施設における被収容者の宗教による教化方策について研修・討議する。

(5) 主題 「希望へ！」

(6) 研究討議題 「自己を見つめ直し 自己改善を促す宗教教誨」

発表者 青森県教誨師会所属 三浦 真介

発表者 秋田県教誨師会所属 飯野 耕太郎

発表者 福島県教誨師会所属 亘理 正明

発表者 山形県教誨師会所属 新野 芳博

発表応援者 青森刑務所上席統括矯正処遇官 竹川 聡嗣 氏
秋田刑務所統括矯正処遇官 岡野 毅 氏
福島刑務所上席統括矯正処遇官 村尾 守康 氏
置賜学院主席専門官 熊谷 康之 氏

(7) 記念講演

ノンフィクションライター 北村 年子 氏

「僕だって善人になりたい～生まれてきてくれてありがとう～」

(8) 成 果

平成24年7月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成25年12月には、「「世界一安全な日本」創造戦略」が閣議決定されるなど、現在、国を挙げて犯罪や非行をさらに減少させ、国民の治安に対する信頼感の醸成に向けた取組みを推進しているところである。これを受けて、各矯正施設においても受刑者や非行少年の再犯・再非行防止のために、更生意欲の喚起と社会生活に適応する能力の育成を図るべく、様々な教育・指導が展開されているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら改善しようとする意識の前向きな姿勢を持ち合わせてこそ、効果的で実効力のあるものとなると考えられる。

このことから、本研修大会においては、仙台矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師と、仙台矯正管区管内の矯正施設の関係者が一同に会し、大会テーマ「希望へ!」、研究討議題「自己を見つめ直し 自己改善を促す宗教教誨」の下で研修がなされた。

被収容者が、これまでの自分を客観的に見つめ直し、自ら改善へと進むためには、宗教的な働きかけが効果的で重要な意味を持つことについて論をまつことはないが、その具体的方策、内容、他の教育課程との連携等、多くの課題があり、一朝一夕に具体化されるものではない。しかし、教誨師がその役割を担うことは、矯正施設のみならず社会全体からの要請ともいえるものであり、矯正教育の根幹をなす部分ともいえるこの大きな課題について、社会からの負託に応えようとする各教誨師の積極的な姿勢が随所に見られる、充実した内容のある研修会であった。

4 第59回東京矯正管区教誨師研修埼玉大会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成27年6月18日（木）～19日（金）

- (2) 場 所 さいたま市浦和区 浦和ロイヤルパインズホテル
- (3) 参加者 教誨師 212 名 矯正施設関係者 86 名 その他関係者 17 名
計 315 名
- (4) 目 的
被収容者の願いに耳を傾け、教誨師の思いを語り、被収容者が将来に希望を持つことができるような、より良い教誨の在り方を今後も模索する。
- (5) 主 題 「希望へ！」
副 題 「願いに耳を傾け、思いを伝える」
- (6) 基調講演
講 師 カウンセリングオフィスうらら代表 富田 美佐緒 氏
演 題 「かたくなな心も開くコミュニケーション」
- (7) 記念講演
講 師 東京大学名誉教授 上野 千鶴子 氏
演 題 「当事者研究のススメ」
- (8) 分科会 (第 1～10 分科会)
座 長 池田 常臣 (浄土宗) 江田 昌弘 (天台宗)
駒井 信亮 (真言宗智山派) 中山 利信 (天理教)
仁平 昭順 (天台宗) 前原 利雄 (神社本庁)
吉田 正臣 (神社本庁) 建部 眞文 (真宗大谷派)
西村 勉 (神社本庁) 小寺 秀仁 (真言宗智山派)
以上 川越少年刑務所所属教誨師

- (9) 成 果
矯正施設における教誨師の活動は、被収容者の宗教的要求に応えながら、様々な問題を抱える彼らに寄り添い、その言葉に耳を傾け、心情の安定や改善更生に向けた意欲喚起を促すところであるが、教誨師が如何に相手と向き合い、相手のことを理解しようとするのか、日ごろ自身の教宗派の教義に基づく見地だけではなく、心理学や社会学といった別分野の見地から様々な知識を学び、より充実した教誨活動が展開される契機となった。

5 第 59 回名古屋矯正管区教誨師研修大会 (JKA補助事業)

- (1) 日 時 平成 27 年 6 月 11 日 (木) ～12 日 (金)
- (2) 場 所 福井市 ホテルフジタ福井
- (3) 参加者 教誨師 77 名 矯正施設関係者 53 名 その他 11 名
計 141 名

(4) 目 的

私たち教誨師が原点に立ち返り、被収容者と同等の目線で接し、信頼関係を構築する中で、心の通い合う教誨を模索し、被収容者が自らの罪を自覚し、他を思いやる心を啓発出来るよう実効と希望ある教誨に努める。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「～心の通い合う教誨を探る～」

(6) 基調講演

講 師 社会福祉法人るんびに苑理事長 藤 大慶 氏

演 題 「発達障がいの背景」

(7) 記念講演

講 師 公益財団法人松原病院代表理事 松原 六郎 氏

演 題 「揺れる心をつめて—現代社会と人間性—」

(8) 全体討議 (パネルディスカッション)

座 長 福井刑務所所属教誨師 牧野 豊丸

助 言 者 社会福祉法人るんびに苑理事長 藤 大慶 氏

意見発表 金沢刑務所所属教誨師 細山 裕康

「ハワイでの経験を通して」

岡崎医療刑務所所属教誨師 小野 正信

「原点に立ち返る」

名古屋刑務所所属教誨師 辻 良尚

「心の通い合う教誨を探る」

豊ヶ丘学園所属教誨師 山田 幸男

「片手に聖書、片手に教誨マニュアル」

(9) 成 果

希望へ—心の通い合う教誨を探る—」をテーマとして、心の問題に光を当てる共に、基調講演、全体討議と一貫性を保ちつつ、記念講演において、新たな教誨師の心の通い合う方向性を見出せるような研修を行うことにより、今後の民間の篤志家である宗教家としての教誨師の位置づけを感じつつ、それぞれの宗教の教えに基づき、被収容者と共に語り、心を通わせながら、宗教的情操が育てられることを期待するとともに、再犯防止に向けた取組を踏まえつつ教誨活動を続けていく概念を養成していくために、「心の通い合う教誨」を目指して自己研さんを重ね、被収容者が改善更生の心を強くするよう、教誨活動を

する者にとって大変意義深い大会であった。

6 第63回大阪矯正管区教誨師研修会

- (1) 日 時 平成27年11月19日(木)
- (2) 場 所 大阪市中央区 難波別院(南御堂)同朋会館
- (3) 参加者 教誨師133名 矯正施設関係者38名 その他24名
計195名
- (4) 目 的
教誨活動の研鑽と充実を目指して
- (5) 主 題 「希望へ！」
副 題 「人は出遭いによって輝く。」
- (6) シンポジウム(鼎談)
シンポジスト アドラムキリスト教会牧師 野田 詠氏 氏
播磨社会復帰促進センター所属教誨師 森 康彦
大阪医療刑務所所属教誨師 墨林 浩
- (7) 成 果

サブテーマに沿った講師や教誨師をシンポジストとして選定し、鼎談の形式をとったことで、宗教的な立場に立ちつつも、リアルな体験談への理解を一層深めることができ、参加者全員で共有できた。アンケート結果からも、参加教誨師にとっても刺激のある研修内容であったことが認められた。現在の社会復帰支援上の課題の理解や教誨師として今後取り組むべき問題の発見にもつながった。以上のことから、本研修会の目的が達成できた。

7 第26回広島矯正管区教誨師研修会(JKA補助事業)

- (1) 日 時 平成27年6月25日(木)
- (2) 場 所 広島市 アークホテル広島駅南
- (3) 参加者 教誨師65名 矯正施設関係者37名 計102名
- (4) 目 的
被収容者と共に希望をもって心豊かな人生を「成し遂げる力」が育まれる教誨活動に資することを目的とする。
- (5) 主 題 「希望へ！」
副 題 「成し遂げる力を育む教誨へ」
- (6) 基調講演
平山郁夫美術館館長 平山 助 成 氏
「平山郁夫の画業―鎮魂と平和への祈り―」
- (7) 講 演

広島矯正管区第三部長 花原明博氏

「新少年院法、少年鑑別所法の施行について」

(8) 成 果

研修テーマについては、ほとんどの研修員は、適切だったと評価している。

研修成果については、「大いにあった」と評価している研修員は、半数以上であった。

研修会で得ることのできた教訓等について、「平和の大切さ」、「各宗教の一体的活動の大切さ」、「主題『希望へ』は我々教誨師・篤志面接委員が持ち続けなければならないこと」など、研修会で得ることができた。

8 第42回高松矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成27年7月7日（火）～8日（水）

(2) 場 所 南国市 サザンシティホテル

(3) 参加者 教誨師40名 矯正施設関係者27名 その他5名
計72名

(4) 目 的

四国4県の教誨師と関係職員が一堂に会し、叶えられる未来・これから彼らにできることの意味を考え、効果的な教誨の在り方について考える。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「～誇りを回復する教誨をめざして～」

(6) 基調講演

福岡県協力雇用主会会長 野口義弘氏

「地域での立ち直り支援」～信じ続ければ応えてくれる～

(7) 分科会

第一部会

協議題 「依存からの脱却について」

座長 高知刑務所所属教誨師 道願 光三郎

助言者 徳島刑務所統括矯正処遇官 大野 太資 氏

高松刑務所統括矯正処遇官 渡邊 泰介 氏

第二部会

協議題 「自立支援について」

座長 高知刑務所所属教誨師 福江 等

助言者 松山刑務所統括矯正処遇官 小西 隆雄 氏

松山学園統括専門官 大森 正義 氏

報 告

第一部会座長 高知刑務所所属教誨師 道願 光三郎
第二部会座長 高知刑務所所属教誨師 福江 等
助言者 高松矯正管区成人矯正第二課長 坂本 和総 氏

(8) 成 果

本研修大会は管内の教誨師が一堂に会し、教誨師の指導技術を向上させ、また、見識を深めるものとして重要かつ貴重な機会である。

本年度の研修大会においては、アンケートの回答等から満足度の高い研修大会であったことが伺われ、今度この成果としての、充実した教誨活動がなされことで、被収容者一人一人の再犯・再非行の防止につながっていくことが期待できる。

今後も、教誨師の指導技術の向上及び研さんのため、研修大会を安定して継続的に開催できるよう努めていく必要がある。

9 第 41 回福岡矯正管区教誨師研修佐世保大会（JKA補助事業）

- (1) 日 時 平成 27 年 10 月 27 日（火）～28 日（水）
- (2) 場 所 佐世保市 レオプラザホテル佐世保
- (3) 参 加 者 教誨師 93 名 矯正施設関係者 57 名 その他 7 名 計 157 名
- (4) 目 的

被収容者に対して、どのようにいのちの重みを伝え、慈しみのこころを涵養させ、人としてのあり方を自覚し希望を持たせることが、教誨師の使命であり、困難な課題でもあることから、この研修大会を開催する。

- (5) 主 題 「希望へ！」
副 題 「こころをはぐくみ育てる宗教教誨」

(6) 記念講演

学校法人ノートルダム清心学園理事長 渡辺 和子 氏
「現代の忘れもの」

(7) 分科会

発表者 北九州医療刑務所所属教誨師 中村 潤一
「収容者に接する教誨師の心得について」

発表者 宮崎刑務所所属教誨師 黒木 源章
「宮崎刑務所教誨の現状について」

発表者 佐賀少年刑務所所属教誨師 藤木 徳仁
「教誨という法縁をいただいて＜一切衆生悉有仏性＞」

発表者 福岡刑務所所属教誨師 大庭 力

	「寄り添う」	
発表者	熊本刑務所所属教誨師	金 聖孝
	「寄り添う友として」	
発表者	佐世保刑務所所属教誨師	高木 龍法
	「『おもい』を大切に」	
発表者	福岡少年院所属教誨師	古屋 治雄
	「少年、青年たちに問いかけつづけること」	
発表者	筑紫少女苑所属教誨師	金 美蘭
	「君は愛されるために生まれた人」	
発表者	大分少年院所属教誨師	渡邊 円世
	「おかげさまに気付き、思いやり、に生きる。」	
助言者	佐世保刑務所企画首席	桑原 一貴 氏
	佐世保刑務所教育統括	金子 慎一 氏
	佐世保学園教育統括	大漣 秀幸 氏

(8) 成 果

研修の成果は大きく、『現在の忘れもの』という記念講演は、研修に参加した者一同が感銘を受けた。また、大会テーマ「希望へ」、副題「こころをはぐくみ育てる宗教教誨」に沿って、教誨活動により具体的にするために、主旨に沿った分科会で熱のこもった発表と質疑応答及び討議が行われ「こころ=いのち」を教誨活動を通じていかに大切であるかを考えさせられた。

II 連絡調整関係

1 宗団代表者との連絡協議会

(1) 日 時 平成27年7月1日(水)午後2時～午後4時30分

(2) 場 所 京都市 西本願寺 伝道本部2階研修室1

(3) 出席者 総 数 37名

神社本庁	大本	金光教
天台宗	高野山真言宗	真言宗智山派
真言宗豊山派	浄土宗	真宗大谷派
融通念仏宗	臨済宗妙心寺派	曹洞宗
日蓮宗	立正佼成会	天理教
カトリック	日本基督教団	ウエスリアン・ホーリネス教団
浄土真宗本願寺派	(本多総務 楠社会部長)	

教誨師連盟関係（17名）

(4) 議 事

ア 報告事項

- 平成 26 年度事業報告及び収支決算報告
- 平成 27 年度事業計画及び収支予算について
- 第 50 回教誨師中央研修会について
- 平成 26 年度宗団賛助金収納状況について
- 連盟創立 60 周年記念大会について

イ 協議事項

- 教誨師の推薦基準について
- その他当面の諸問題について

ウ 教宗団内における研修状況等について

2 第 16 回在京教宗団代表者との懇談会

(1) 日 時 平成 27 年 10 月 14 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

(2) 場 所 東京都港区芝 東京グランドホテル（曹洞宗壇信徒会館）
4 階「芙蓉の間」

(3) 出席者 総 数 24 名

曹洞宗（3名）	浄土宗	浄土真宗本願寺派
真宗大谷派	日蓮宗（2名）	法華宗（本門流）
立正佼成会（2名）	天理教	カトリック中央協議会
日本基督教団	ウェスレアン・ホーリネス教団	
全国教誨師連盟（9名）		

(4) 話 題

- ア 事業報告について
- イ 全国教誨師連盟の動向について
- ウ 各教宗団の研修状況について
- エ 各教宗団の資格付与について
- オ 連盟創立 60 周年記念大会の教宗団寄附金について
- カ その他

3 第 3 回法務省矯正局との意見交換会

(1) 日 時 平成 27 年 12 月 18 日(金) 午後 5 時 00 分～午後 6 時 15 分

(2) 場 所 法務省地下棟小会議室

(3) 出席者 総 数 17 名

小川矯正局長	富山官房審議官
木村少年矯正課長	杉山成人矯正課企画官
岩浪少年矯正課企画官	畠山成人矯正課補佐官

川島少年矯正課補佐官	滝山成人矯正課事務官	
山田参与	平野参与	近藤理事長
舎奈田副理事長	深山副理事長	石川副理事長
山根副理事長		
龍田事務長	佐藤主事	

(4) 協議事項

- ア 委員等旅費について
- イ 教誨師の活動範囲の拡充について
- ウ 女性教誨師の増加について
- エ 全国教誨師連盟の外部理事・評議員について
- オ 褒章受賞者数について

Ⅲ 顕彰関係

1 生存者叙勲（春：4名 秋：2名）

春	川越 恒豊	曹洞宗	富山刑務所
	櫻井 宥祥	高野山真言宗	鳥取刑務所
	寺林 惇	真宗大谷派	大阪拘置所
	成田 了恵	浄土真宗本願寺派	川越少年刑務所
秋	小林 哲朗	日蓮宗	松江刑務所
	松本 文秀	高野山真言宗	岡山少年院

2 藍綬褒章（春：5名 秋：6名）

春	自覚 昭道	曹洞宗	中津少年学院
	鈴木 眞	日本基督教団	加古川学園
	堀 智仙	日蓮宗	笠松刑務所
	南 尚浩	在日大韓基督教会	岡山刑務所
	山名 義一	浄土真宗本願寺派	千葉刑務所
秋	門田 和明	真言宗豊山派	松山刑務所
	谷口 和男	プロテスタント（単立）	大阪拘置所
	永江 憲昭	浄土宗	福岡刑務所・福岡拘置所
	橋立 秀文	曹洞宗	栃木刑務所
	華埜井 究	真宗大谷派	瀬戸少年院
	脇屋 好昭	真宗興正派	奈良少年刑務所・奈良少年院

3 総裁表彰（27名）

石川 厚信	浄土宗	札幌刑務所
-------	-----	-------

柏川	法潤	浄土真宗本願寺派	旭川刑務所
岸	實瑩	浄土真宗本願寺派	山形刑務所
岡	撰也	ウエスリアン・ホーリネス教団	山形刑務所
英	元弘	曹洞宗	置賜学院
近藤	哲城	浄土真宗本願寺派	川越少年刑務所
谷津	良勝	カトリック	喜連川社会復帰促進センター
寺内	照恒	真言宗智山派	府中刑務所
遠藤	了義	日蓮宗	千葉刑務所
和田	大雅	真言宗御室派	横浜刑務所
三澤	宥智	真言宗智山派	松本少年刑務所
公文名	眞	浄土真宗本願寺派	富山刑務所
野村	潔	日本聖公会	名古屋拘置所
濱口	義昭	天理教	宮川医療少年院
加藤	光照	浄土宗	福井刑務所
松本	武三	カトリック	大阪拘置所
本川	英暁	浄土真宗本願寺派	神戸拘置所
後藤	進	カトリック	播磨社会復帰促進センター
藤井	亮俊	天台宗	神戸刑務所
大北	哲也	高野山真言宗	松江刑務所
杉山	日出男	大本	広島刑務所
桑羽	隆慈	浄土真宗本願寺派	美祢社会復帰促進センター
沖村	吟峰	臨濟宗天龍寺派	岩国刑務所
黒田	道郎	日本基督教団	徳島刑務所
道願	光三郎	金光教	高知刑務所
田中	英康	日蓮宗	佐賀少年刑務所
砂野	元道	金光教	福岡少年院

4 法務大臣感謝状（25名）

内山	智洋	日蓮宗	帯広刑務所
井澤	隆明	浄土宗	山形刑務所
山谷	敬	神社本庁	青森刑務所
松濤	孝佳	浄土宗	栃木刑務所
伊佐	榮豊	真言宗智山派	多摩少年院
加藤	泰裕	臨濟宗妙心寺派	八街少年院
友田	達祐	浄土宗	静岡刑務所
池田	賢勇	真宗大谷派	喜連川社会復帰促進センター

田代	弘興	真言宗豊山派	府中刑務所
仲田	周雄	天台宗	茨城農芸学院
鈴木	源一郎	神社本庁	豊橋刑務支所
法信	公照	真宗大谷派	名古屋拘置所
延村	茂憲	神社本庁	金沢刑務所
石原	和久	真宗大谷派	名古屋刑務所
榎	研治	曹洞宗	名古屋刑務所
治田	義行	真宗大谷派	滋賀刑務所
寶來	正彦	神社本庁	大阪刑務所・大阪拘置所
植村	悦雄	天理教	奈良少年刑務所・奈良少年院
奈良	重雄	臨濟宗妙心寺派	神戸刑務所
小西	正弘	天理教	京都刑務所
橋本	信之	浄土宗	広島刑務所
小川	恵眞	浄土真宗本願寺派	山口刑務所
上杉	宣章	真宗大谷派	鳥取刑務所
土屋	榮巖	真言宗豊山派	松山刑務所
大場	力	キリストの教会	福岡刑務所・福岡拘置所

5 日本宗教連盟理事長感謝状（12名）

藤井	照人	真言宗智山派	札幌刑務所
三浦	善詔	浄土真宗本願寺派	宮城刑務所
河上	政信	日蓮宗	宮城刑務所
畑	年	神社本庁	横須賀刑務支所
富	祐彬	真宗大谷派	金沢刑務所・湖南学院
長澤	普天	浄土宗	京都刑務所
藤原	宏昭	日本イエス・キリスト教団	神戸拘置所
中桐	眞彦	金光教	岡山少年院
枝川	円陽	天台宗	岡山刑務所
黒田	道郎	日本基督教団	徳島刑務所
永江	憲昭	浄土宗	福岡刑務所・福岡拘置所
自覺	昭道	曹洞宗	中津少年学院

IV 物故者（17名）

小島	不二	真言宗智山派	新潟刑務所	4月26日逝去
宇都宮	憲爾	大本	岡山刑務所	4月29日逝去
疋田	英順	日蓮宗	広島刑務所・広島拘置所	

				6月 6日逝去
田中	正晴	天理教	美祢社会復帰促進センター	6月28日逝去
武内	英真	浄土真宗本願寺派	福岡刑務所・福岡拘置所	7月11日逝去
大西	一平	神社本庁	加古川刑務所	7月18日逝去
福嶋	法隆	浄土真宗本願寺派	鹿児島刑務所	7月24日逝去
野村	潔	日本聖公会	名古屋拘置所	9月10日逝去
秦	康成	浄土真宗本願寺派	筑紫少女苑	10月25日逝去
岩見	紀明	浄土真宗本願寺派	福井刑務所	10月27日逝去
梅沢	一雄	曹洞宗	川越少年刑務所	11月19日逝去
雨宮	大朔	日本聖公会	網走刑務所	11月19日逝去
加藤	亮雄	天台宗	佐賀少年刑務所	12月18日逝去
和田	智英	浄土真宗本願寺派	佐世保学園	12月21日逝去
阿部	恵海	曹洞宗	甲府刑務所	12月29日逝去
内貴	八郎右衛門	日本フรีเมソジスト教団	神戸刑務所	1月22日逝去
杉山	日出男	大本	広島刑務所	3月20日逝去

V 各種刊行物等の発行

- | | | |
|---|---------------------|---------------|
| 1 | 教誨師連盟だより 49号 | 平成27年7月1日発行 |
| 2 | 研修会の記録CD (平成26年度分) | 平成27年9月17日発行 |
| 3 | 全国教誨師会員名簿 (平成27年度版) | 平成27年10月20日発行 |
| 4 | 教誨師連盟だより 50号 | 平成27年12月1日発行 |
| 4 | 「教誨」50号 | 平成28年3月発行 |

VI 公益事業関係会議

教誨師中央研修会関係

1 企画委員会

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| (1) | 日時 | 平成27年4月24日(金)午後2時～同5時 |
| (2) | 場所 | 東京都千代田区 矯正局14階会議室 |
| (3) | 出席者 | 総数 14名 |
| (4) | 議事 | 第50回教誨師中央研修会の目的・同対象者・研修カリキュラム |

2 企画実行委員会

- | | | |
|-----|----|-----------------------------|
| (1) | 日時 | 平成27年7月24日(金)午後4時30分～同6時15分 |
| (2) | 場所 | 東京都千代田区 矯正局14階会議室 |

- (3) 出席者 総数 28名
- (4) 議事 第50回教誨師中央研修会の役割分担
- 3 中央研修会協議会の打ち合わせ会
 - (1) 日時 平成27年9月2日(水) 午前11時00分～同12時00分
 - (2) 場所 東京都千代田区 法務省地下大会議室
 - (3) 出席者 総数 12名
 - (4) 議事 中央研修会協議会の運営について
- 4 評価委員会
 - (1) 日時 平成27年9月8日(火) 午後3時～同4時45分
 - (2) 場所 東京都千代田区 法務省1階共用応接室
 - (3) 出席者 総数 5名
 - (4) 議事 第50回教誨師中央研修会の第一回目評価

教誨マニュアル作成準備委員会

- 1 第16回会議
 - (1) 日時 平成27年4月3日(金) 午後2時00分～同5時00分
 - (2) 場所 東京都中野区新井 矯正会館4階会議室
 - (3) 出席者 総数 15名
 - (4) 議事 原稿の確認
内容確認 「少年編」「年表」
- 2 第17回会議
 - (1) 日時 平成27年5月1日(金) 午後2時00分～同5時10分
 - (2) 場所 東京都中野区新井 矯正会館4階会議室
 - (3) 出席者 総数 14名
 - (4) 議事 内容確認 「宗教教誨の歴史」「成人編」「篤志面接委員制度」「刑事裁判」「少年審判制度」「コラム」
- 3 第18回会議
 - (1) 日時 平成27年7月3日(金) 午後2時00分～同5時00分
 - (2) 場所 東京都中野区 矯正会館第2会議室
 - (3) 出席者 総数 14名
 - (4) 議事 項目別に分担したチェック内容の発表確認
「更生保護」「篤志面接」「刑事裁判」「少年審判」
- 4 第19回会議
 - (1) 日時 平成27年9月18日(金) 午後2時00分～同5時00分
 - (2) 場所 東京都中野区 矯正会館第2会議室
 - (3) 出席者 総数 12名

- (4) 議 事 表記法の確認 出版形態の確認
- 5 第 20 回会議
(1) 日 時 平成 27 年 10 月 15 日 (木) 午後 2 時 00 分～同 5 時 00 分
(2) 場 所 東京都中野区 矯正会館第 2 会議室
(3) 出席者 総 数 13 名
(4) 議 事 「矯正の概要」「年表」の原稿確認
- 6 第 21 回会議
(1) 日 時 平成 27 年 11 月 30 日 (月) 10 時 00 分～17 時 00 分
(2) 場 所 東京都中野区 矯正会館第 2 会議室
(3) 出席者 総 数 14 名
(4) 議 事 検討の進捗状況の確認
宗教教誨の意義と目的、宗教教誨の歴史の内容確認
- 7 第 22 回会議
(1) 日 時 平成 27 年 12 月 18 日 (金) 10 時 00 分～15 時 30 分
(2) 場 所 東京都中野区 矯正会館第 2 会議室
(3) 出席者 総 数 12 名
(4) 議 事 内容確認 「宗教教誨の歴史」「年表」
- 8 第 23 回会議
(1) 日 時 平成 28 年 1 月 28 日 (木) 11 時 00 分～17 時 00 分
(2) 場 所 東京都中野区 矯正会館第 2 会議室
(3) 出席者 総 数 11 名
(4) 議 事 進捗状況の確認
内容確認 「宗教の実際少年編」「全国教誨師連盟」
- 9 第 24 回会議
(1) 日 時 平成 28 年 2 月 23 日 (水) 午前 11 時 00 分～同 5 時 00 分
(2) 場 所 東京都中野区 矯正会館第 2 会議室
(3) 出席者 総 数 14 名
(4) 議 事 内容確認 「全国教誨師連盟」「成人矯正における教誨」

事業報告に関する附属明細書はありません。